



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュートレック

コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤木 英幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 西田 明弘

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	687	△10.3	△243	—	△230	—	△240	—
26年3月期第2四半期	767	△60.8	△146	—	△141	—	△72	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △251百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △85百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△25.78	—
26年3月期第2四半期	△7.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,938	3,126	75.8
26年3月期	4,477	3,481	73.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,986百万円 26年3月期 3,310百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,668	△31.1	△315	—	△320	—	△325	—	△34.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年9月12日付「株式会社メディア総合研究所の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」を発表したことによる連結業績への影響については、現在精査中であり、今後内容が明らかになった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,459,200 株	26年3月期	9,459,200 株
27年3月期2Q	146,400 株	26年3月期	146,400 株
27年3月期2Q	9,312,800 株	26年3月期2Q	9,312,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善や雇用、所得の向上により景気は緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税前駆け込み需要の反動減や夏場の天候不順等により、個人消費は伸び悩んでいる状況にあります。当社グループの主な事業分野である音声認識市場におきましては、スマートフォンやタブレット端末に加え、車載機器やロボット、ウェアラブル機器などへ用途が広がっております。

このような環境のなか、当社グループは、再成長に向けて「Re-Built(リ・ビルト)」の経営方針のもと、音声認識事業の収益安定化及び、新規事業の創出と事業化に取り組んでまいりました。

音声認識事業におきましては、収益性の高い分野へ重点的に営業活動を展開いたしました。車向けには、自動車メーカー、サプライヤーへ次期モデルに向けたローカル型音声認識及びサーバ型音声対話の拡販を展開いたしました。また、アプリサービスベンダーやウェアラブル業界に向けても、積極的に営業活動を進めてまいりました。

新規事業の創出と事業化におきましても、国内外の企業との資本業務提携やM&A及びアライアンスなどを検討し、事業の実現に向け意欲的に活動いたしました。その結果、株式会社メディア総合研究所の株式取得による子会社化の決定及び、株式会社みらい翻訳の設立に向けた合弁契約の締結を実現いたしました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は687百万円(前年同四半期比10.3%減)、営業損失は243百万円(前年同四半期は営業損失146百万円)、経常損失は230百万円(前年同四半期は経常損失141百万円)、四半期純損失は240百万円(前年同四半期は四半期純損失72百万円)となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第14期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	第15期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ライセンス	672	639	△32
ライセンス以外	95	48	△46
売上高合計	767	687	△79

## ① ライセンス(音声認識・UIソリューション事業分野、音源事業分野、CRMソリューション事業分野)

売上高は639百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

音声認識・UIソリューション事業分野の売上高は441百万円(同5.2%減)となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、UIソリューション事業のランニングロイヤルティ及び受託業務による収入が減少したことによるものであります。

音源事業分野の売上高は67百万円(同22.4%減)となりました。前連結会計年度にフィーチャーフォンの一部機種において一括ロイヤルティを計上したため、前第2四半期連結累計期間と比較し、ランニングロイヤルティの収入が減少したことによるものであります。

CRMソリューション事業分野の売上高は130百万円(同9.0%増)となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、カスタマイズ業務による収入が増加したことによるものであります。

## ② ライセンス以外(基盤事業分野・カード事業分野)

売上高は48百万円(前年同四半期比48.7%減)となりました。

基盤事業分野の売上高は36百万円(同20.6%増)となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、受託開発業務による収入が増加したことによるものであります。

カード事業分野の売上高は12百万円(同81.2%減)となりました。前連結会計年度に大手予備校からの書込み受託業務が終了したため、前第2四半期連結累計期間と比較し、英語リスニング模擬試験用メモリーカードの書込みによる収入が大幅に減少したことによるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ538百万円減少し3,938百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が3,106百万円(前連結会計年度末比624百万円減)、固定資産が832百万円(同85百万円増)であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少211百万円、売掛金の減少427百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、投資その他の資産の増加85百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が288百万円(前連結会計年度末比191百万円減)、固定負債が524百万円(同8百万円増)であります。

流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少63百万円、短期借入金の増加100百万円、未払法人税等の減少208百万円によるものであり、固定負債の変動要因は、繰延税金負債の増加8百万円によるものであります。

純資産の部では利益剰余金の減少337百万円等により3,126百万円(前連結会計年度末比355百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績の予想につきましては、平成26年5月9日公表の数値から変更はございません。

なお、平成26年9月12日付「株式会社メディア総合研究所の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」を公表したことによる連結業績予想への影響については、現在精査中であり、今後内容が明らかになった段階で速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,781,657	2,569,903
売掛金	665,071	237,953
有価証券	100,000	100,000
仕掛品	13,594	11,673
その他	172,586	188,006
貸倒引当金	△2,577	△1,211
流動資産合計	3,730,332	3,106,324
固定資産		
有形固定資産	102,382	92,356
無形固定資産		
のれん	149,486	136,709
その他	172,677	195,200
無形固定資産合計	322,163	331,910
投資その他の資産	322,732	408,340
固定資産合計	747,279	832,608
資産合計	4,477,611	3,938,932
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	90,047	26,561
短期借入金	-	100,000
未払法人税等	212,943	4,096
賞与引当金	12,747	36,614
その他	163,945	121,152
流動負債合計	479,683	288,425
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
繰延税金負債	16,130	24,193
固定負債合計	516,130	524,193
負債合計	995,814	812,619
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	914,795	914,795
利益剰余金	1,715,365	1,377,478
自己株式	△69,963	△69,963
株主資本合計	3,276,766	2,938,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,882	47,751
その他の包括利益累計額合計	33,882	47,751
新株予約権	30,902	30,902
少数株主持分	140,245	108,779
純資産合計	3,481,796	3,126,312
負債純資産合計	4,477,611	3,938,932

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
売上高	767,143	687,932
売上原価	320,452	367,058
売上総利益	446,691	320,874
販売費及び一般管理費	593,642	563,989
営業損失（△）	△146,951	△243,115
営業外収益		
受取利息	1,548	4,301
受取配当金	3,274	3,715
為替差益	—	7,132
その他	686	450
営業外収益合計	5,509	15,599
営業外費用		
支払利息	21	1,214
投資事業組合運用損	—	1,748
その他	—	500
営業外費用合計	21	3,462
経常損失（△）	△141,462	△230,978
特別利益		
投資有価証券売却益	64,456	—
特別利益合計	64,456	—
特別損失		
固定資産売却損	—	584
子会社移転費用	—	4,347
特別損失合計	—	4,931
税金等調整前四半期純損失（△）	△77,006	△235,909
法人税、住民税及び事業税	2,444	2,444
法人税等調整額	△1,779	27,025
法人税等合計	664	29,470
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△77,670	△265,380
少数株主損失（△）	△5,670	△25,277
四半期純損失（△）	△72,000	△240,102

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△77,670	△265,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,847	13,868
その他の包括利益合計	△7,847	13,868
四半期包括利益	△85,517	△251,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,847	△226,234
少数株主に係る四半期包括利益	△5,670	△25,277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。